

すぐにできる 地震防災 入門



先月16日、宮城県を震度6弱の地震が襲ったように、昨年から今年にかけて、日本中で大規模な地震が発生し、大きな被害をもたらしました。政府の地震調査委員会は、札幌の周辺にも地震の発生源となる活断層が存在していると報告しており、札幌でも大地震が発生する危険があります。地震が起こった際は、普段からの備えがあなたの身を守ります。できることから始めてみませんか？

[詳細] 危機管理対策室 ☎215-2090
 <HPアドレス> www.city.sapporo.jp/kikikanri/



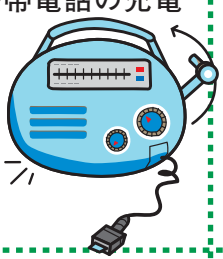
平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災。
 震度7の揺れが阪神地方を襲い、死者は6千人を超えました

えっ!こんなものが?

もしものときに必ず役立つ防災グッズ

手回し充電ラジオ

ハンドルを回して充電できる電池要らずのラジオ。携帯電話の充電機能やライト、サイレンなどを搭載するものもあります。災害時、情報収集にラジオは必携です。



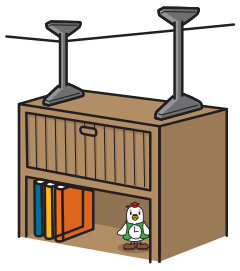
エマージェンシーブランケット

ナサ
 NASAが開発した断熱素材を使用したアルミシート。防寒、防水効果に優れており、畳めば、手のひらに入るほどコンパクトに。毛布3枚分の保温力で冬も安心です。



家具転倒防止具

阪神・淡路大震災において、けがの原因は家具転倒が第1位。家具が転倒しないよう、壁、天井と家具を器具で固定しておくことが重要です。



ゴミ袋

かぶってポンチョにすれば雨具や防寒具に変身。また、水を入れるタンク、荷物入れ、防水シート、そのままゴミ袋としてなど、いざというときに大活躍します。



予備の眼鏡

眼鏡を使用している方は、使わなくなった眼鏡を捨てずに、非常持ち出し品の中に加えておきましょう。眼鏡がなければ行動が制約されます。



備えておくべき非常持ち出し品

- 食料
- 水
- 救急セット
- ウエットティッシュ
- 手袋
- ラジオ
- 懐中電灯
- 使い捨てカイロ
- 貴重品
- 衣類
- 現金

このほか、赤ちゃんにはオムツ、女性の方には生理用品が欠かせません。また、使わなくなったスキーウェアなど防寒対策も忘れずに。

※防災グッズはホームセンターなどで販売しています